学校番号	3032B

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学基礎②	単位数	1単位	年次	2年次後期
使用教科書							
副教材等	教科書傍用　パラレルノート数学Ⅰ＋A						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・予習（これまでの学習の確認問題を解く）と復習（授業で扱った問題などを再度解き、学力の定着につなげる）を必ずしてください。
・授業では、前期の内容の続きから始まります。授業内容の理解に努めてください。
・これまでに使用した数学 IA の教科書やノートがあると、理解しやすくなるかもです。

2　学習の到達目標

・これまでの既習内容を踏まえながら、再度問題を解き、理解をさらに深める。
・問題を解く中で数学的な表現で解答を作り上げていくような力を身に付ける。
・演習を通して、改めて数学のよさに気づき、問題解決に向けて積極的に考察する姿勢を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・既習内容について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。	・既習内容から標準問題に対し発展的に考察することができる。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり,粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	数学A分野	数学Ⅰ 第5章　データの分析 数学A 第1章　場合の数と確率 第2章　図形の性質 第3章　数学と人間の活動 ※授業進度に応じて、 取り組む内容を変更する場合あり。	a:既習内容の基本的な原理や法則を理解している。 b:問題演習を行う中で、数学的な表現を用いて、的確に表現している。 c:既習内容から新しい発見や考察を深めたりし、評価・改善したりしている。	小テスト 提出物	小テスト 提出物 振り返りシート	提出物 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度